

## 事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 君津市教育委員会
2. 研究主題 : 【調査研究Ⅰ】学校統合を行う場合の教育環境充実事例
3. 研究タイトル : 新たな地域の核として、魅力ある学校づくりに向けて
4. 研究課題 : これまでのそれぞれの地域文化の融合と継承を図るため、新たな教育課程の編成に取り組む。  
スクールバスの導入に伴い、地域交通として活用することで、地域振興の一助とする。  
教育課程を新たに編成するにあたり、スクールバスの導入も考慮し、放課後の時間の活用や部活動のあり方について研究する。

### 5. 事業の実績

#### (1) 調査研究のねらい

「子どもたちにとってよりよい教育環境」を目指し、統合を行う。統合に伴って、新たな教育課程の編成等を行っていくこととなる。これまで各学校が地域とともに作り上げてきた文化を継承しつつ、新たな学校づくりをすることにより、地域とともにある学校につながるものである。

また、通学手段としてスクールバスを導入するため、部活動や放課後の時間の活用も同時に検討を進めていく。

#### (2) 調査研究の実施状況（平成29年度）

4月	統合準備室設置に向けた調査研究 スクールバス業者との協議（運行ルート等）
5月	統合準備室の組織、運営に関する協議（学校関係者） スクールバス運行に関する現地調査 清和地区青少年健全育成団体への説明 【小糸・清和地区】統合準備室 設置
6月	スクールバス運行业者との協議 【小糸・清和地区】【小櫃・上総地区】事務部会（備品・文書について） 【小櫃・上総地区】地区説明会（統合準備室について） 【小糸・清和地区】総務部会（校名の選考について）
7月	地域団体との協議 学校関係者との協議（教育課程について） JRとの協議（スクールバスとJR久留里線について） 【小糸・清和地区】事務部会（備品・文書の移管について） 清和地区懇談会への説明および意見交換 小糸地区懇談会への説明および意見交換 市PTA連絡協議会へ現状の説明 【小糸・清和地区】事務部会（備品データ化へ） 【小糸・清和地区】事務部会（保健関連備品、文書について） 【小櫃・上総地区】事務部会（保健関連備品、文書について）
8月	【小糸・清和地区】教育課程部会（日課、規則について） 【小糸・清和地区】教育課程部会（部活動について）
9月	【小糸・清和地区】総務部会（校名の絞込み）

10月	<p>※契約</p> <p>【小糸・清和地区】総務部会（校名の絞込み）</p> <p>【小糸・清和地区】通学部会（スクールバス運行について）</p> <p>【小糸・清和地区】教育課程部会（教育課程の編成について）</p> <p>○スクールバス現地調査</p>
11月	<p>【小櫃・上総地区】準備室設置</p> <p>【小櫃・上総地区】総務部会（校名の選考方法について）</p> <p>通学区域審議会での説明（統合に伴う通学区域の変更）</p> <p>地域振興、地域交通に関する打ち合わせ（講演会の講師調査）</p> <p>○次年度の行事予定に関する調整（事前交流や校外学習の扱いについて）</p>
12月	<p>スクールバス運行に関わる業者打ち合わせ</p> <p>【小糸・清和地区】通学部会（スクールバスの運行ルート、停留所について）</p> <p>地域振興・公共交通部局との打ち合わせ</p> <p>【小糸・清和地区】教育課程部会（評価基準、評価方法について）</p> <p>【小糸・清和地区】教育課程部会（地域学習について）</p> <p>○地域学習材、人材に関する調査</p> <p>○部活動に関する情報収集と関係課との協議</p> <p>○市校長会との協議（教育課程の編成、制服、部活動等）</p>
1月	<p>地域振興に関わる講師との打ち合わせ</p> <p>公共交通に関わる講師との打ち合わせ</p> <p>【小櫃・上総地区】事務部会（備品データ化について）</p> <p>【小糸・清和地区】PTA部会（組織構成について）</p> <p>【小糸・清和地区】総務部会（制服について）</p> <p>○スクールバス運行業者との打合せ</p> <p>○スクールバスに関する保護者との意見交換</p> <p>○制服メーカーとの意見交換</p>
2月	<p>【小櫃・上総地区】教育課程部会（年間計画、事前交流について）</p> <p>【小櫃・上総地区】教育課程部会（新入生説明会について）</p> <p>【小糸・清和地区】教育課程部会（事前交流について）</p> <p>【小櫃・上総地区】総務部会（校名の絞込み）</p> <p>◆【小糸・清和地区】講演会（地域交通とスクールバス）</p> <p>◆【小糸・清和地区】【小櫃・上総地区】講演会（地域振興について）</p> <p>○市校長会との協議（事前交流、教育課程等）</p> <p>○市教頭会との協議（備品・文書の移管について）</p>
3月	<p>【小櫃・上総地区】総務部会（校名の絞込みについて）</p> <p>【小糸・清和地区】事務部会（次年度に向けて情報共有）</p> <p>【小糸・清和地区】総務部会（制服について）</p>

## 6. 事業の成果

## (1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

○新たな教育課程の編成に向けて、教育課程部会での検討を実施した。特に地域文化の融合と継承を図る面で、地域の学習材や人材の洗い出しや整理を小糸・清和地区で進めることができた。

○行事の調整を行う中で、校外学習等の目的や行く先などを検討することができた。

○夏季休業中に、合同研修会、合同職員会議を開催することで、教職員間の交流のみならず、互いの学校文化や地域文化について理解が進んだ。そのため、どのように融合していくかという視点で話し合いを進めることができた。

○学校教育活動と地域行事と関連したものがある。教育課程部会で協議を行ったが、学校だけでなく公民館など他団体も関連するものがあり、団体関係者や地域関係者との協議が必要である。

○現状の教育活動にプラスして協議の場を設定したり、資料作成をしたりしなければならない。市教委も関わり、支援をしながら行っているが、教職員に負担がかかってしまうため、外部とのコーディネートの業務を行う人的な支援が必要である。

○県でも統合時点に児童生徒のケアなどから加配措置がされているが、統合前に措置をすることが、統合時の教育活動を充実する面、円滑な接続を図る面から重要であると感じた。

○スクールバスの地域公共交通の利活用について、公共交通を扱う部署と連携した取り組みができた。また、その中で大学の研究として取り組んでいる講師を招聘した講演会を開催することにつながった。

○大学の研究において、地域の公共交通に関するニーズを把握するために全戸にアンケート調査も行っており、そのニーズをもとにスクールバスの地域への還元としての活用方法について示唆をいただくことができた。

○児童生徒の通学手段をベースに考えつつも、地域への利活用方法について検討していくためには、利用者のニーズと運用方法について整理し、地域と対話をしながら進めていく必要があることがわかった。

○部活動のあり方については、国の方針を受けて行う必要があり、かつ地域や保護者のニーズ、さらには本市だけでなく支部や県の体育連盟との関係もあり、今後さらにつめていく必要がある。

○放課後の時間の活用については、教職員の働き方にも関わる事項でもあること、そして地域ボランティアの活用なども視野に入れ、地域関係団体等との協議を今後進めていく必要がある。そして、その協議の場を設けることや調整を図るためのコーディネートを担う人材が必要である。

○地域のネットワークを持つ方々は、統合準備室の委員として活動している場合が多い。それに加えて、地域活動も中心となって活動を行っていることから、その方々への負担も大きく、会議なども厳選して行う必要があり、具体的な協議にまでは至っていない。

## (2) 成果物等

○地域学習材と地域人材についてまとめた「地域人材マップ」(小糸・清和地区)

○スクールバスとその利活用に関するまとめ

## (3) 今後の取組予定

○今後も新たな学校づくりにおいて、統合準備室での協議を進めていく。その際に、これまでの地域性の継承と新たな地域づくりという観点で進めていくため、地域関係者との協議の場を設定し、幅広い意見を伺いながら取り組んでいく。

○スクールバスの運行方法を作成し、それをもとに地域での利活用について、関係部署との協議、地域関係者との協議を進めていく。